

健康産業流通新聞に『イムバランス』が取り上げられました。

健康産業流通新聞に、「アレルギー対応の新素材上市 花粉症予防効果を臨床試験で確認 研究成果、海外学術誌で論文掲載」と題し、イムバランスが取り上げられました。

2010年11月25日(火)

健康産業流通新聞

健康産業流通新聞社発行

アレルギー対応の新素材上市

ニチモウバイオティックス

ニチモウバイオティックス(株)(東京都品川区)が花粉症やアトピー性皮膚炎などアレルギー疾患対応の機能性食品素材を12月1日に上市する。大豆を麹菌で発酵培養した新素材で、製名は「イムバランス」。花粉症予防効果については臨床試験で有効性が確認されており、海外の医学雑誌に論文が掲載されている。発売から3年後を目処に、原料出荷ベースで年間5トンの供給を目指す。

同社では米国マウントサイナイ医科大学などと共同研究を実施し、これまで3つの機能性を明らかにした。このうち、花粉症予防効果については国内で実施した予備臨床試験で確認したもので、被験者の花粉ブローシースンにおける自己評価による症状スコアの全体平均は前年と比べて大幅に改善された。また、アトピー性皮膚

花粉症予防効果を臨床試験で確認

研究成果、海外学術誌で論文掲載

らかにし、論文等で発表してきた。具体的には①Th1型及②Th2型反応の調節と関連していることに伴う、食物アレルギーに対する潜在的な新療法の可能性③アトピー性皮膚炎自然発症モデルマウスを使った試験で皮膚炎症状の悪化抑制や皮膚の水分蒸散量の顕著な低下④花粉症予防効果のバイロット臨床試験の結果、約85%で花粉症の諸症状が改善——を確認。研究成果は英国医学誌で論文が掲載されたり、学会発表されたりしている。

このうち、花粉症予防効果については国内で実施した予備臨床試験で確認したもので、被験者の花粉ブローシースンにおける自己評価による症状スコアの全体平均は前年と比べて大幅に改善された。また、アトピー性皮膚

炎マウスを使った試験では、抗アレルギー薬とほぼ同程度の改善効果が見られた。

この知見について同社と共同研究した松田浩珍・農工大教授は「皮膚バリア機能の改善効果は抗アレルギー薬よりも優れていることは、アレルギー疾患全般にとっても福音」とコメントしているという。